



# スマホ利用六つの決まり

## ルール表完成させよう

スマホやインターネットを使うときのルールを家族で話し合って、ルール表を完成させましょう。ルールづくりのポイントが、京都府サイバー犯罪対策課の田中一成さん(48)が話してくれました。

ルールには、①時間②場所③課金④マナー⑤フィルタリング⑥相談先の六つの項目を盛り込むようにしましょう。

まず時間。「何時から何時まで」「使用時間は何分」と具体的に決めましょう。場所は「保護者の目の届く範囲」「一人で使わない」のが基本です。子ども部屋やベッドでは長時間の利用にすぎないです。

課金ゲームや買い物を、しないようにしましょう。マナーでは、歩行中など、ながらスマホは事故のもと、会話中もやめましょう。あやしいサイトなどを取り除いてくれるフィルタリング機能は、スマホやゲー

ム機、タブレット端末などすべてに設定しましょう。トラブルはすぐ保護者に相談しましょう。

## 受け手の気持ち大切に



京都府警察ネット安心アドバイザーの石川千明さん

## ユーザーになりたい

「大手ゲーム制作会社でゲームデザイナーとして働いていた石川さん。ユーザーになりたいという子が増えていますが、アドバイスはありますか？」

「実は、私はゲームがそれほど好きではありませんでした。でも、ゲーム制作は、どんなことを人が楽しいと感じるかを考えることが大事でした。ゲームにのめりこむより、ゲームのどんなところが人を喜ばせるのかを客観的に考えられる人が向いています」

「同じようにユーザーになるには、ひとりよがりではなく、多くの人を楽しませるネタがたくさん必要です。自分が面白くても人を傷つけたら、嫌な気持ちにさせてはいけません。さまざまな視点で考えることが大切です」

## わが家のスマホルール

家族で話し合い、決まるところをうめて、お子さまのスマホを安全に使用させましょう。  
うすい文字のところはなぞりながら、お子さまと確認しましょう。

- ① スマホを触っているのは  時  分から  時  分まで。  
②  時  分になったら電源を切り、 に戻します。
- ③ 基本的に  だけで使います。  
④ 自分の部屋、ベッドの中、お風呂やトイレには持ち込みません。
- ⑤  は解除しません。  
⑥ 有料のアイテムなどは買ったりダウンロードしたりしません。  
有料のアイテムなどが欲しいときは必ずおうちのの人に相談します。  
⑦ 困ったときは、すぐに  に相談します。  
⑧  は書きこみません。  
⑨ 人の  は書きません。  
⑩ 、 のときは使えません。

上記のルールを守れなかったら、 にします。

保護者で決まらなければいけません。

子供で決まらなければいけません。

(保護者の氏名)

(子供の氏名)

## クイズの答え

① お店の名前が写り込んで、あなたや友だちがいる場所が分かってしまいます。店名が写っていないくても、特徴から場所が特定されることもあります。

SNSに投稿する記事や写真は、だれでも見られるようにせず、友だちなどに共有範囲を限定した方がよいでしょう。

② 名前や学年など個人情報分かる教科書やポスターが写っています。悪意のある人が、知らないうちにあなたたちに近づいてくるかもしれません。

また、友だちに写真を見せてSNSに投稿してよいかどうか確認しましたか。勝手に投稿してはいけません。

③ お店にいる他のお客さんも写っています。いることを知られたくないかもしれません。